

## アルテ、サリル、ケレンサ (Alte, Salir e Querença)

について



写真: David Santos / C.M. Loulé

アルテ、サリル、ケレンサ (Alte, Salir e Querença)

アルテ、サリル、クエレンサの村々を巡る田舎の旅は、より本物で本格的なアルガルヴェを垣間見ること、きっとあなたを驚かせ、いつものビーチでの休暇を充実させることでしょう。

ロウレ市内に位置するアルテ、サリル、ケレンサの村々はすべてアルガルヴェンシス・ジオパーク内にあります。これらは、ヴィア・アルガヴィアナをハイキングやサイクリングする人や、ポルティマンとアルコウティム間のアルガルヴェの丘を結ぶ道路であるE N124をバイクや車で走る人にとって、アルガルヴェ内陸部を巡る旅程で必見の目的地です。



Fonte Pequena ©Luís da Cruz / C.M. Loulé



## アルテ (ALTE)

アルテは、その起源となったローマ時代の痕跡を今も残す古代の村であり、アルガルヴェ地方で最も本格的な村のひとつです。歴史的な街並みを散策し、魅力的な白塗りの家々、彩られた窓やブラティバンド、レースの煙突を鑑賞しましょう。村の歴史的な中心部には、16世紀に建てられたバロック様式で内装が装飾された 聖母被昇天聖母教会があり、自然とそこに惹かれていくことでしょう。周囲の静けさに身を委ねてください。

アルテメモリーハウスを訪れて、この芸術に捧げられた村で、今でも高度な技術を持つ職人たちによって行われている工芸について学びましょう。ここで生産されるエスパルト、ヤシ、木材、陶器、銅製品は地域全体でよく知られています。

詩人カンディド・ゲレイロに捧げられたフォンテ・ペケーナ（小さな泉）、フォンテ・グランデ（大きな泉）、そして小さなケダ・ド・ヴィガリオの滝の間では、訪問者は、レヴァダや堰堤、水車を通して流れる冷たい水を常に近くで見ることができます。

カンディド・ゲレイロとアルテ伯爵博物館には、詩人フランシスコ・ザビエル・カンディド・ゲレイロとアルテ伯爵の邸宅や、「民衆の家」から出土した品々、かつて村人が所有していた品々が展示されています。



Polo Museológico de Salir ©Junta de Freguesia de Salir

## サリル (SALIR)

海岸と丘の間に位置するサリルは、南ポルトガルに定住したムーア人によって設立された防衛システムの一部でした。1189年にサンチョ1世王によって征服され、城が建設されたこの町は、アルガルヴェのキリスト教徒による再征服において重要な役割を果たしました。この再征服は、アフォンソ3世王の治世中の1249年に終了しました。

村の歴史はサリル博物館で詳しく紹介されており、訪問者は町で発見された考古学的遺物を見ることができます。サリルの伝説はよく知られており、地元の文化に生きています。魔法にかけられたムーア人の少女、ムーア人の少女のベルト、そして金の櫛の伝説について調べてみましょう。





Salir ©Arquivo RTA

サン・セバスティアンに捧げられた母教会から、カルデイラオン丘陵とロシャ・ダ・ペナの眺めを楽しんでください。これらは村から約7kmの場所にあり、480メートルの分類された地質学的に指定され、保護された景観です。ここでは自然散策が非常に人気のある活動で、特に春には野生のランを見つけるのに最適な場所です。



Querença ©David Santos

## ケレンサ (QUERENÇA)

ケレンサは、伝統的な建築、白塗りの家、そして伝統的な風習を特徴とする典型的なアルガルヴェの村です。その周辺の見所の一つ



はフォンテ・ベネモラです。これは、さまざまな泉の水がリベイラ・デ・メナルバに集まる地域保護区で、川岸には豊かな植物が生い茂り、バードウォッチングに最適な場所となっています。リベイラ・デ・メルセスも同様で、ここでは古い灌漑システムがレヴァダと水車で構成されており、その歴史はこの地域のアラブ占領時代にまで遡ることができます。

遺産の観点から言えば、16世紀の聖母被昇天教会に言及する価値があります。地元の人気のある宗教的な祭りは、ケレンサを訪れる絶好の機会です。特に、チョリソー、蜂蜜、イースターフォラーブレッドなどの地元の名物料理を味わうことができます。それらは、籠細工や布製の人形などの地元の手工芸品を探索する素晴らしい方法でもあります。



アルガルヴェの丘の伝統料理©サリル民間教区 ©Junta da Freguesia de Salir

アルテ、サリル、ケレンサの田舎の村々を巡る旅は、メドロンホブランデー、蜂蜜、チーズなど、地元の珍味や特産物を味わうのに最適な方法です。より伝統的な料理としては、ひよこ豆や豆料理、ジャガイモ、キャベツ、放し飼いの雄鶏のスープ、「ゼレム」と呼ばれるコーンミールのお粥などがあります。

アルガルヴェにいる間に、美味しいイチジク、アーモンド、カボチャを使ったケーキ、モルガドス（イチジクとアーモンドの「チーズ」）、ドン・ロドリゴ（卵黄、砂糖、挽いたアーモンド、シナモンの組み合わせ）、そして祖先から伝わる「ボロ・デ・ファカ」（パン生地、クルミまたはアーモンド、アニスの種、レモン、シナモンを使ったもの）をぜひお試しください。